

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)  
 施策名 就労支援の推進

施策コード 5010401

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり (活力・賑わい)	節 第4節 雇用・労働
	施策	就労支援の推進	

**基本方針**

- 関係機関と連携し、利用者のニーズに合った就労支援メニューの充実をはじめ、合同就職面接会の実施など就職困難者への就労支援に努めます。
- 雇用機会の均等を図るための啓発活動を推進するとともに、職業体験などを通じた職業観の醸成及び人材育成への取り組みを図ります。

**現況と課題**

- 就労相談窓口を複数開設することで、身近な就労相談につながっています。
- 無料職業紹介所を開設し、ハローワークと同様の就職紹介や斡旋を実施しています。
- 就職困難者に対して資格取得の支援を行うことで、就労能力の向上などを行っています。
- 農業分野における就労体験を通じて、若年者に働く誇りや意欲を持たせることにより人材育成を図っています。
- 府やハローワークをはじめ関係機関と連携し、雇用促進の取り組みを実施しています。
- 就労支援メニューの充実を図っていますが、相談件数が伸び悩んでいます。
- 出入国管理及び難民認定法の一部が改正されたことにより、外国人の就労希望者の増加が今後予想されます。

**施策目標**

対象 (誰を、何を、どこを)  
 就職困難者、就労希望者等

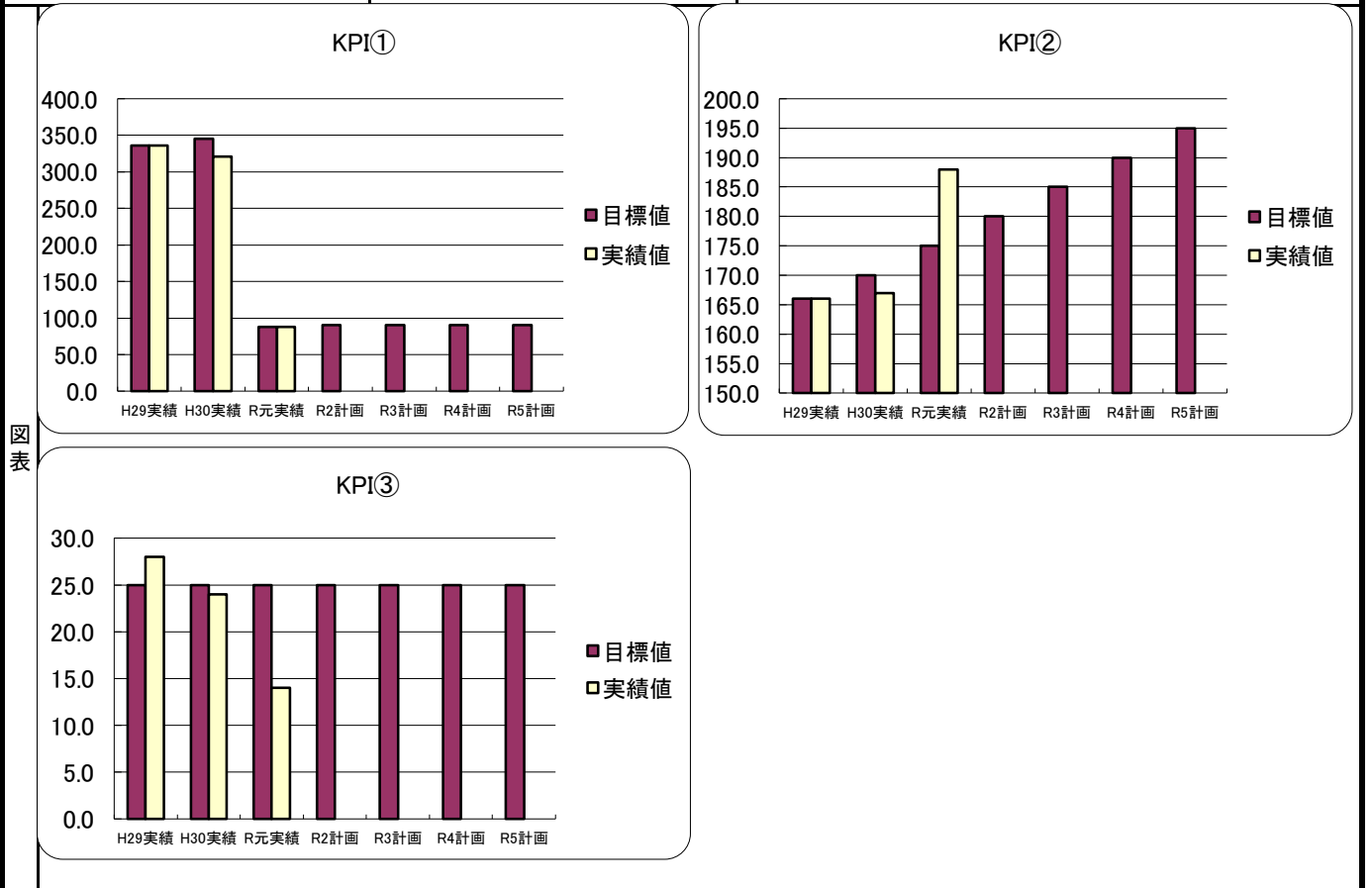
意図 (どのような状態にしたいのか)  
 就職困難者、就労希望者等への相談・支援等を行い、労働力の底上げ、雇用・就労を促進する。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	35.1						
重要度 (偏差値)	54.2						

4. 施策にかかるコスト								
		単位	H30決算	R元決算				
コストの内訳	人件費	千円	5,520	7,377				
	事業費		49,600	48,823				
	フルコスト		55,120	56,200				
財源内訳	国庫支出金	千円	22,454	22,103				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		22,455	22,103				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		10,211	11,994				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	4,691	4,617						

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)

① KPI 1 就職困難者などの就労相談件数(延べ数)							
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	336.0	345.0	88.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	336.0	321.0	88.0				
達成度	100.0	93.04	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
就労支援対象者に対するアプローチ部分である相談件数を把握することにより、就労支援にかかる取組みの方向性を判断する基準となり得るため、成果指標の一つとします。		就労相談は、経済情勢により増減し、令和元年度は、有効求人倍数が1948年以降過去最高水準であり、相談件数が少なかった。しかしながら、どのような情勢においても、雇用に結びつける入口として広く門戸を開いておく必要があるため、令和元年度の水準を維持することとする。		30年度までの実績は相談者1人の訪問につき、相談と閲覧(求人情報)がある場合は、これを分け、2件として計上していたが、その集計方法が望ましくないと考えことから、相談と閲覧で1件として扱うことにしたため。			
② KPI 2 就労支援フェア参加者数							
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	166.0	170.0	175.0	180.0	185.0	190.0	195.0
実績値	166.0	167.0	188.0				
達成度	100.0	98.24	107.43				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
就労支援対象者に対するアプローチ部分となるため。		雇用は、経済情勢により影響を受けるが、努力目標として一定の伸びを見込むもの。		令和元年度は、観光業が活性で就労支援フェアに魅力ある企業を誘致できた。			
③ KPI 3 就労相談を受けた就労希望者及び市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数							
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
実績値	28.0	24.0	14.0				
達成度	112.0	96.0	56.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
就労支援事業の最終目標は、就職困難者、就労希望者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。		経済情勢の影響が大きいため、一定数確保することを目標とする。		令和元年度の後半に、新型コロナウイルスの影響が出たため目標値に届かなかった。			



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>2</b>	外形要因を含むが、最終的な就労にまで結びつけることができなかった。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>1</b>	就職が困難な方から相談を受けることが多く、実務上のニーズはある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	働き方改革や外国人受入環境が変化するなか、時代に応じた就労支援が求められる。
	合計点	(10点中) <b>5点</b>	
	総合評価	<b>C</b>	働き方改革や外国人受入環境が変化するなか、時代に応じた就労支援が必要であり、プラットフォーム型支援の構築が必要。
	二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>C</b>	引き続き、就職困難者等の就労支援に努めること。
三次評価 (理事者による評価)	<b>C</b>	引き続き、就職困難者等の就労支援に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01032100	地域就労支援事業	3,164	251	251	0	B
2	01083223	就労支援カレッジ事業	2,528	44,544	338	0	C
3	01083401	外国人労働者受入環境整備事業	1,685	4,028	4,028	0	A
合計			7,377	48,823	4,617	0	